復習シート　センター生物　２学期　１２回目

第 83 問－１　２学期　分類

問１　次の文章中の空欄(ア～ソ)に適する語句を入れよ。

　１８世紀、(　ア　)は生物の分類に関して、次の方法を提唱した。それは、生物を分類する際は、まずは動物界か植物界かのどちらかに分けるというもので、これを(　イ　)という。１９世紀になると、この方法では間に合わない事例が多数出てきた。例えば単細胞生物であるミドリムシは「　ウ　」という点では動物界に属するが、「　エ　」という点では植物界にも属してしまう。そこで(　オ　)は、動物界・植物界に加えて(　カ　)生物の界である(　キ　)を加えた(　ク　)を唱えた。１９６９年、(　ケ　)は(　コ　)を唱えた。これはのちに(　サ　)によって改良を加えられて今日に至る説である。(　ク　)では、(　シ　)は植物界に属していた。これは多細胞で細胞壁を持ち、動かないからである。しかし、光合成をおこなわない。光合成をおこなわないのに植物と言ってよいのであろうか。そこで、この(　シ　)の界である(　ス　)を設定した。加えて、単細胞生物として原生生物界に加えていた(　セ　)は、(　ソ　)を作ってそこに属するようにしたのである。

【解答】第２学期　第 83 問－１

問１

ア - リンネ　　イ - 二界説　　ウ - べん毛を持ち泳ぎ回る　　エ - 光合成をおこなう

オ - ヘッケル　　カ - 単細胞　　キ - 原生生物界　　ク - 三界説　　ケ - ホイタッカー

コ - 五界説　　サ - マーグリス　　シ - 菌類　　ス - 菌界　　セ - 細菌(バクテリア)

ソ - 原核生物界(モネラ界)

第 83 問－２　２学期　分類

問２　次の生物(１～５)は二界説と五界説では属する界が異なる。二界説で属している界と五界説で属している界をそれぞれを答えよ。

１．ゾウリムシ　　２．ミドリムシ　　３．アオカビ　　４．ミドリムシ　　５．大腸菌

問３　次の文章中の空欄(ア～コ)に適する語句を入れよ。

１９９０年、(　ア　)は、全生物が共通に持つ(　イ　)の塩基配列の解析結果をもとに生物を分類したところ、それまで同じ(　ウ　)に属していた大腸菌などの(　エ　)と、超好熱菌などの(　オ　)がかなり異なる生物であることに気付いた。そこで、界より上の段階である(　カ　)を設定し、「生物を分類するときは、まず(　キ　)・(　ク　)・(　ケ　)のどれかに分類すべきだ」という(　コ　)を唱えた。

【解答】第２学期　第 83 問－２

問２

	二界説	五界説
１．ゾウリムシ	動物界	原生生物界
２．ミドリムシ	動物界	原生生物界
３．アオカビ	植物界	菌界
４．ミドリムシ	植物界	原生生物界
５．大腸菌	植物界	原核生物界(モネラ界)

問３

ア‐ウーズ　　イ‐ｒＲＮＡ　　ウ‐原核生物界(モネラ界)　　エ‐細菌(バクテリア)
オ‐古細菌(アーキア)　　カ‐ドメイン　　キ・ク・ケ‐真核生物・アーキア・バクテリア
コ‐三ドメイン説

第 84 問　２学期　分類の段階

問　次の文章中の空欄(ア～ナ)に適する語句を入れよ。

１８世紀、(　ア　)は、生物の分類に関して「段階を踏んで分類しよう」と提唱した。これが改良されて今現在では界・(　イ　)・(　ウ　)・(　エ　)・(　オ　)・(　カ　)・(　キ　)となって広く用いられている。では、これに従って「人間」を分類してみよう。まず、「人間」は動物であるから動物界に属する。そして、動物界の中で背骨を持ってるので、(　イ　)の段階は(　ク　)となる。さらに、(　ク　)のうち、(　ケ　)で、母親が(　コ　)を与えるので、(　ウ　)の段階は(　サ　)。(　サ　)のうちサルの仲間なので、(　エ　)の段階は(　シ　)。(　シ　)のうち、類人猿や人類は(　ス　)。(　ス　)のうち、「人間」は(　セ　)という(　カ　)に、その(　セ　)の中の(　ソ　)という(　キ　)に属する。

リンネは、「論文などで扱う生物の名称は(　オ　)と(　カ　)の名称を併記するようにしよう」という(　タ　)を考案し、この(　タ　)で表記された名称を(　チ　)という。

なお、(　カ　)の名称を特に(　ツ　)という。この方法によれば、次の場合・・・

和名	(　チ　)	
	(　カ　)名	(　ツ　)
ヒト	(　セ　)	(　ソ　)
シロナガスクジラ	*Balaenoptera*	*musculus*
ハツカネズミ	*Mus*	*musculus*
ヒメネズミ	*Apodemus*	*argenteus*
アカネズミ	*Apodemus*	*speciosus*
アカカンガルー	*Macropus*	*rufus*

・・・和名であると、ハツカネズミもヒメネズミもアカネズミもどれも「ネズミ」となり、類縁関係が近く思える。しかし、(　チ　)を見ると、(　テ　)ネズミと(　ト　)ネズミは(　カ　)まで一緒で類縁関係が近いが、(　ナ　)ネズミは(　カ　)が異なっており、これらのネズミとは類縁関係が遠いことがわかる。

【解答】第２学期　第 84 問

ア - リンネ　　イ - 門　　ウ - 綱　　エ - 目　　オ - 科　　カ - 属　　キ - 種

ク - 脊椎動物門　　ケ - 胎生　　コ - 母乳　　サ - 哺乳綱　　シ - 霊長目　　ス - ヒト科

セ - ホモ(Homo)　　ソ - サピエンス(Sapiens)　　タ - 二名法　　チ - 学名

ツ - 種小名　　テ・ト - ヒメ・アカ　　ナ - ハツカ

第 85 問－１　２学期　原核生物界(モネラ界)

問１　次の表中に空欄に適する語句を入れよ。

	モネラ界		真核生物
	細菌(バクテリア)	古細菌(アーキア)	
核膜	なし		あり
細胞膜の脂質			
細胞壁の主成分		多糖類	植物界　菌界
ヒストン			あり
スプライシング			あり

【解答】第２学期　第 85 問－１

問１

	モネラ界		真核生物
	細菌(バクテリア)	古細菌(アーキア)	
核膜	なし	なし	あり
細胞膜の脂質	エステル脂質	エーテル脂質	エステル脂質
細胞壁の主成分	ペプチドグリカン	多糖類	植物界　菌界 セルロース　キチン
ヒストン	なし	あり	あり
スプライシング	なし	あり	あり

第 85 問－２　２学期　原核生物界(モネラ界)

問２　次の生物(１～３)の例を、下の①～⑨のうちからそれぞれ選び出せ。

１．細菌　　２．古細菌　　３．真核生物

①　高度好塩菌　②　大腸菌　③　枯草菌　④　根粒菌
⑤　ムラサキホコリカビ　⑥　タイヨウチュウ　⑦　メタン菌
⑧　ゾウリムシ　⑨　超好熱菌

問３　次の生物(１～４)の例を、下の①～⑫のうちからそれぞれ選び出せ。

１．化学合成細菌　２．光合成細菌　３．シアノバクテリア　４．窒素固定細菌

①　アナベナ　②　根粒菌　③　クロストリジウム　④　ネンジュモ
⑤　硫黄細菌　⑥　紅色硫黄細菌　⑦　緑色硫黄細菌　⑧　亜硝酸菌
⑨　硝酸菌　⑩　ユレモ　⑪　黄色ブドウ球菌　⑫　アゾトバクター

問４　次の表中の空欄に適する語句を入れよ。

	水素原(電子原)	光合成色素
光合成細菌		
シアノバクテリア		

【解答】第２学期　第 85 問－２

問２　１．細菌：②③④２．古細菌：①⑦⑨　３．真核生物：⑤⑥⑧

問３　１．化学合成細菌：⑤⑧⑨　２．光合成細菌：⑥⑦
３．シアノバクテリア：①④⑩　４．窒素固定細菌：②③⑫

問４

	水素原(電子原)	光合成色素
光合成細菌	H_2O	クロロフィルａ
シアノバクテリア	H_2S	バクテリオクロロフィル

第 86 問　２学期　原生生物界

問１　次の文章中の空欄(ア～キ)に適する語句を入れよ。また、空欄(ク～テ)に入る生物例を、下の①～⑭のうちからそれぞれ１つずつ選べ。

原生生物界の生物のうち、(　ア　)を持ち(　イ　)をおこなうもののグループを藻類という。そのうち単細胞のものは(　ウ　)類・ツノモのなどの(　エ　)類・ハネケイソウなどのケイ藻類からなる。また、多細胞のものは、クロロフィルａとｂを持つ(　オ　)類・シャジクモ類、クロロフィルａとｃを持つ(　カ　)類、クロロフィルａとｄを持つ(　キ　)類からなる。(　オ　)類には、単細胞のものには(　ク　)・(　ケ　)が、細胞群体には(　コ　)が、多細胞のものには(　サ　)・(　シ　)・(　ス　)がある。(　カ　)類には、(　セ　)・(　ソ　)・(　タ　)・(　チ　)がある。(　キ　)類には(　ツ　)・(　テ　)がある。

① アオサ　② アオノリ　③ アサクサノリ　④ クラミドモナス
⑤ クロレラ　⑥ コンブ　⑦ テングサ　⑧ ヒジキ
⑨ フラスコモ　⑩ ボルボックス　⑪ ホンダワラ　⑫ ミル
⑬ ヤコウチュウ　⑭ ワカメ

問２　植物界の生物は、藻類の何というグループから進化してきたと考えられているか。根拠とともに答えよ。

(　　)な(　　)類から進化してきたと考えられている。

【解答】第２学期　第 86 問

問１　ア - クロロフィル　イ - 光合成　ウ - ミドリムシ　エ - 渦鞭毛藻　オ - 緑藻
カ - 褐藻　キ - 紅藻　ク・ケ - ④・⑤　コ - ⑩　サ・シ・ス - ①・②・⑫
セ・ソ・タ・チ - ⑥・⑧・⑪・⑭　ツ・テ - ③・⑦

☆「⑨フラスコモ」はシャジクモ類、「⑬ヤコウチュウ」は渦鞭毛藻類である。

問２

クロロフィルａとｂが共通なシャジクモ類(緑藻類)から進化してきたと考えられている。

☆「生物」の教科書４種類中３種類は「シャジクモ類から進化した」となっており、１種類は「緑藻類から進化した」となっている。

第 87 問　2 学期　原生動物・粘菌・卵菌

問１　次の文章中の空欄(ア～カ)に適する語句を入れよ。

原生生物のうち、(　ア　)で、かつ(　イ　)のものを原生動物という。この原生動物というグループは(　ウ　)・(　エ　)などの根足虫類、ミズケムシ・ラッパムシ・(　オ　)などの繊毛虫類、(　カ　)・エリベンモウチュウなどの鞭毛虫類、マラリア病原虫などの胞子虫類からなる。

問２　動物界は原生生物の何とう仲間から進化してきたと考えられているか。問１の文章中にある生物から答えよ。

問３　次の文章中の空欄(ア～カ)に適する語句を入れよ。

生活環の中に、(　ア　)を持ち運動する(　イ　)状の時期と、(　ウ　)となって胞子を作る時期があるものを粘菌類という。この粘菌類は(　エ　)などの変形菌のグループと、(　オ　)などの細胞性粘菌のグループからなる。変形菌は、(　カ　)によって多核の単細胞体(変形体)を形成する。一方の細胞性粘菌は細胞が集まるだけで(　カ　)はしない。

問４　次の文章中の空欄(ア・イ)に適する語句を入れよ。

原生生物のうち、多核の菌糸体を形成するグループを卵菌という。細胞壁を持つが、菌類とは違ってその成分は(　ア　)である。(　イ　)やツユカビが知られている。

【解答】第 2 学期　第 87 問

問１ア‐単細胞　　イ‐従属栄養　　ウ・エ‐アメーバ・タイヨウチュウ
　　オ‐ゾウリムシ　カ‐トリパノソーマ

問２　エリベンモウチュウ

問３　ア‐仮足　　イ‐アメーバ　　ウ‐子実体　　エ‐ムラサキホコリカビ
　　オ‐キイロタマホコリカビ　　カ‐細胞融合

問４　ア‐セルロース　　イ‐ミズカビ

第 88 問　２学期　植物界・植物の生活環(その１)

Ａ　問１　次の文章中・図中の空欄(ア～コ)に適する語句を入れよ。

植物界は、維管束の有無によって(　ア　)植物門と(　イ　)植物に分ける。(　イ　)植物のうち、(　ウ　)を作らないものを(　エ　)植物門、作るものを(　ウ　)植物門という。そして(　ウ　)植物門のうち、(　オ　)が(　カ　)におおわれていないものを(　キ　)植物亜門、おおわれているものを(　ク　)植物亜門という。さらに(　ク　)植物亜門は、根に主根と側根があり、葉脈が枝分かれしている(　ケ　)綱と、ひげ根を持ち葉脈が平行になっている(　コ　)綱に分ける。

- 植物界
  - (ウ)植物門
    - (ク)植物亜門
      - (コ)綱
      - (ケ)綱
    - (キ)植物亜門
  - (エ)植物門
  - (ア)植物門

Ｂ　次の表に関する下の各設問に答えよ(この問題は１学期の第５５問と同じである)。

	受精卵	(1.　　)	(2.　　)	(3.　　)	(4.　　)	造精(卵)器
コケ植物						
シダ植物					(5.　　)	
被子植物			(6.　　)	(7.　　)	(8.　　)	

問２　表中の空欄(１～８)に適する語句を入れよ。なお、(１)～(４)には「配偶体」「胞子」「胞子体」「胞子のう」のいずれかが入る。

問３　つぎの各設問に答えよ。

設問(１)　「受精卵」「造精器・造卵器」「配偶体」「胞子」「胞子体」「胞子のう」のうち、ｎのものをすべて答えよ。

設問(２)　「受精卵」「造精器・造卵器」「配偶体」「胞子」「胞子体」「胞子のう」のうち、無性世代のものをすべて答えよ。

【解答】第２学期　第 88 問

問１　ア‐コケ　　イ‐維管束　　ウ‐種子　　エ‐シダ　　オ‐胚珠

カ‐子房(子房壁)　キ‐裸子　　ク‐被子　　ケ‐双子葉　　コ‐単子葉‐

問２　１．胞子体　　２．胞子のう　　３．胞子　　４．配偶体　　５．前葉体

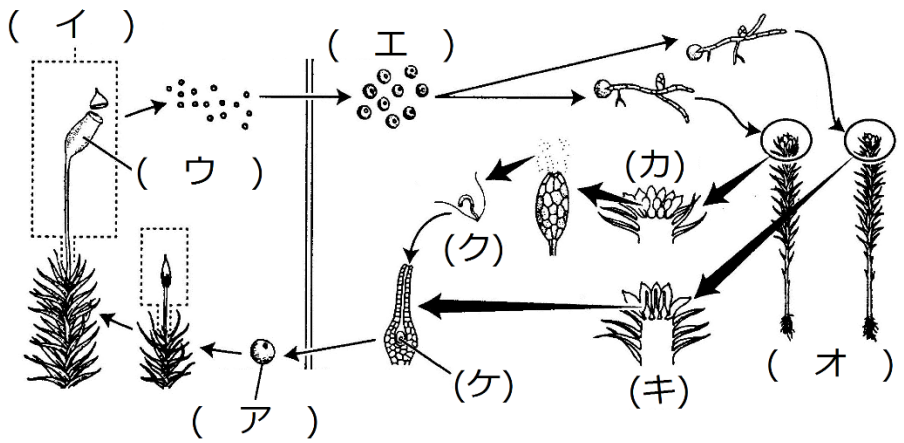
６．やく・胚珠　　７．花粉四分子・胚のう細胞　　８．花粉(管)・胚のう

問３　設問(１)　胞子・配偶体・造精器・造卵器　設問(２)　受精卵・胞子体・胞子のう

第 89 問　２学期　植物の生活環(その２)

問１　下のコケ植物の模式図を参考にして、文章中の空欄(ア～ソ)に適する語句を入れよ。

（　ア　)が成長して(　イ　)となるが、(　イ　)が持つ生殖器を(　ウ　)という。(　ウ　)の中では(　コ　)によって(　エ　)が作られる。(　エ　)は成長して(　オ　)となる。(　オ　)には雄株と雌株があり、雄株・雌株の先端には生殖器である(　カ　)・(　キ　)がそれぞれ存在し、(　ク　)・(　ケ　)が作られる。なお、性の有無に注目すれば、(　ア　)・(　イ　)は(　サ　)世代に、(　エ　)・(　オ　)は(　シ　)世代に属し、この(　サ　)世代と(　シ　)世代が交互に出現する現象を(　ス　)という。また、核相に注目すれば、(　ア　)・(　イ　)は(　セ　)世代に、(　エ　)・(　オ　)は(　ソ　)世代に属し、この(　セ　)世代と(　ソ　)世代が交互に出現する現象を核相交代という。



問２　コケ植物の例を２つ以上答えよ。

【解答】第２学期　第 89 問

問１　ア - 受精卵　　イ - 胞子体　　ウ - 胞子のう　　エ - 胞子　　オ - 配偶体

カ - 造精器キ - 造卵器　　ク - 精子　　ケ - 卵細胞　　コ - 減数分裂

サ - 無性　　シ - 有性　　ス - 世代交代　　セ - 複相(２ｎ)　　ソ - 単相(ｎ)

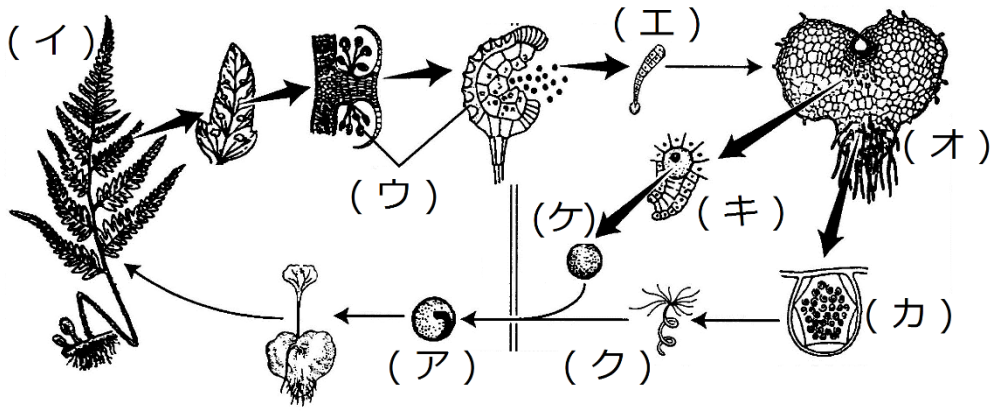
問２　ゼニゴケ・スギゴケ

第 90 問　２学期　生活環(その３)

問１　下のシダ植物の模式図を参考にして、文章中の空欄(ア～ネ)に適する語句を入れよ。

(　ア　)は成長して(　イ　)となるが、(　イ　)の葉の裏側には(　ウ　)がある。(　ウ　)の中では(　コ　)によって(　エ　)ができる。(　エ　)は成長して(　オ　)となるが、この(　オ　)は(　サ　)とも呼ばれる。なお、シダ植物の(　オ　)は、コケ植物と異なって、雄株と雌株はなく、１つの個体が(　カ　)・(　キ　)の両方を持っている。このような状態を(　シ　)という。(　カ　)・(　キ　)それぞれの中では(　ス　)によって(　ク　)・(　ケ　)が作られる。また、(　ア　)・(　イ　)は(　セ　)世代に、(　エ　)・(　オ　)は(　ソ　)世代に属し、この(　セ　)世代と(　ソ　)世代が交互に出現する現象を(　タ　)という。また、核相に注目すれば、(　ア　)・(　イ　)は(　チ　)世代に、(　エ　)・(　オ　)は(　ツ　)世代に属し、この(　チ　)世代と(　ツ　)世代が交互に出現する現象を核相交代という。

被子植物の場合、(　ウ　)に相当するのは(　テ　)・(　ト　)、(　エ　)に相当するのは(　ナ　)・(　ニ　)、(　オ　)に相当するのは(　ヌ　)・(　ネ　)である。



問２　シダ植物の例を３つ以上答えよ。

【解答】第２学期　第 90 問

問１　ア‐受精卵　　イ‐胞子体　　ウ‐胞子のう　　エ‐胞子　　オ‐配偶体
　　カ‐造精器　キ‐造卵器　　ク‐精子　　ケ‐卵細胞　　コ‐減数分裂
　　サ‐前葉体　　シ‐雌雄同体　　ス‐体細胞分裂　　セ‐無性　　ソ‐有性
　　タ‐世代交代　　チ‐複相(２ｎ)　　ツ‐単相(ｎ)　　テ・ト‐葯・胚珠
　　ナ・ニ‐花粉四分子・胚のう細胞　　ヌ・ネ‐花粉(管)・胚のう

問２　トクサ・スギナ・ヒカゲノカズラ・ゼンマイ・ワラビ

第 91 問　2 学期　光合成色素

問１　次の表中の空欄に、その光合成色素(クロロフィルａ～ｄ)を持っているばあには「○」を入れよ。なお「バ」とはバクテリオクロロフィルのことである。

	a	バ	b	c	d
緑藻・シャジクモ・植物					
褐藻					
紅藻					
シアノバクテリア					
光合成細菌					

問２　緑藻･褐藻･紅藻･シアノバクテリア･光合成細菌の例を、それぞれ２つずつ答えよ。

【解答】第２学期　第 91 問

問１

	a	バ	b	c	d
緑藻・シャジクモ・植物	○		○		
褐藻	○			○	
紅藻	○				○
シアノバクテリア	○				
光合成細菌		○			

問２

緑藻：クラミドモナス(単細胞)・クロレラ(単細胞)・ボルボックス(細胞群体)
　　アオミドロ(多細胞)・アオサ(多細胞)・アオノリ(多細胞)・ミル(多細胞)

褐藻・コンブ・ヒジキ・ワカメ・ホンダワラ

紅藻：テングサ・アサクサノリ

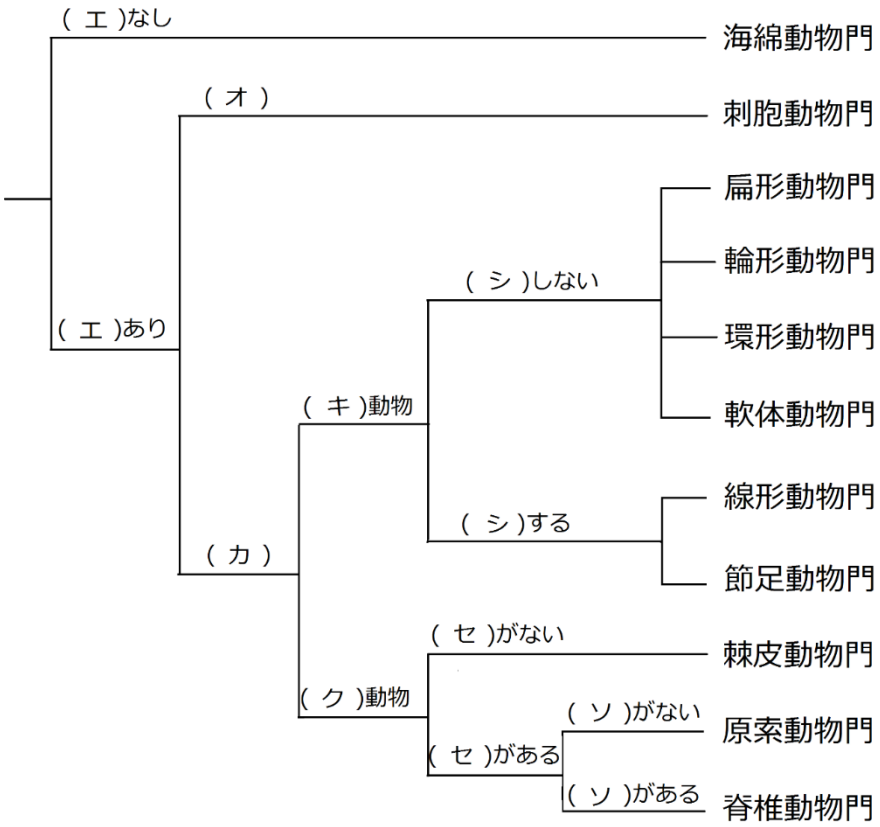
シアノバクテリア：ネンジュモ・アナベナ・ユレモ・ミクロキスティス

光合成細菌：紅色硫黄細菌・緑色硫黄細菌

第 92 問　2 学期　動物界(系統樹)

問　下の系統樹を参考にして、次の文章中の空欄(ア～ソ)に適する語句を入れよ。

動物界は、(　ア　)界の(　イ　)のグループに属する(　ウ　)から進化してきたと考えられている。動物界のうち、もっとも原始的なのは海綿動物門で、細胞群が(　エ　)を形成していない。次に原始的なのが刺胞動物門で、細胞群が(　エ　)を形成しているが、(　オ　)である。(　カ　)のものは(　キ　)動物・(　ク　)動物に分ける。(　キ　)動物は、(　ケ　)が(　コ　)になるグループで、(　ク　)動物は(　ケ　)が(　サ　)になるグループである。(　キ　)動物は、(　シ　)するグループとしないグループに分ける。しないグループは、幼生のころ(　ス　)幼生を経る、または成体がそのまま(　ス　)幼生にそっくりなグループである。(　ク　)動物は(　セ　)を持つグループと持たないグループに分ける。(　セ　)を持つグループは、(　ソ　)持つグループと持たないグループに分ける。



【解答】第 2 学期　第 92 問

ア - 原生生物　　イ - 原生動物　　ウ - エリベンモウチュウ　　エ - 胚葉　　オ - 二胚葉

カ - 三胚葉　　キ - 旧口　　ク - 新口　　ケ - 原口　　コ - 口

サ - 肛門　　シ - 脱皮　　ス - トロコフォア　　セ - 脊索　　ソ - 脊椎(背骨)

第 93 問－１　２学期　動物界(生物例)

問１　次の事柄(１～４)と関係が深い動物門を、下の①～⑪のうちからそれぞれ選び出せ。

１．えり細胞　２．体節構造　３．がいとう膜　４．放射相称

①　海綿動物門　②　刺胞動物門　③　扁形動物門　④　輪形動物門

⑤　環形動物門　⑥　軟体動物門　⑦　線形動物門　⑧　節足動物門

⑨　棘皮動物門　⑩　原索動物門　⑪　脊椎動物門

問２　次の動物門(１～１１)の例を、下の①～⑳のうちからそれぞれ選び出せ。なお、該当するものがない場合は「なし」とせよ。

１．海綿動物門　２．刺胞動物門　３．扁形動物門　４．輪形動物門

５．環形動物門　６．軟体動物門　７．線形動物門　８．節足動物門

９．棘皮動物門　10．原索動物門　11．脊椎動物門

① イカ　② イソギンチャク　③ ウニ　④ カイ　⑤ カイチュウ

⑥ カイロウドウケツ　⑦ クラゲ　⑧ ゴカイ　⑨ サナダムシ　⑩ サンゴ

⑪ センチュウ　⑫ ダイダイイソカイメン　⑬ タコ　⑭ ナマコ　⑮ ヒトデ

⑯ ヒドラ　⑰ ヒル　⑱ プラナリア　⑲ ミミズ　⑳ ワムシ

【解答】第２学期　第 93 問－１

問１　１．えり細胞：①　２．体節構造：⑤⑧　３．がいとう膜：⑥　４．放射相称：②⑨

問２　１．海綿動物門：⑥⑫　２．刺胞動物門：②⑩⑮⑯　３．扁形動物門：⑨⑱

４．輪形動物門：⑳　５．環形動物門：⑧⑰⑲　６．軟体動物門：①④⑬

７．線形動物門：⑤⑪　８．節足動物門：なし　９．棘皮動物門：③⑭⑮

10．原索動物門：なし　11．脊椎動物門：なし

☆原索動物門は「ホヤ」と「ナメクジウオ」を暗記しておこう。

第 93 問－１　２学期　動物界(生物例)

問３　節足動物門を構成する４つの綱の名称を答え、それぞれの例を下の①～⑦のうちからそれぞれ選び出せ。

①　オオクワガタ　　②　オニグモ　　③　サソリ　　④　ダンゴムシ
⑤　フジツボ　　⑥　ムカデ　　⑦　ミジンコ

問４　脊椎動物門に関して以下の設問(１～３)に答えよ。

設問(１)　脊椎動物門を構成する６つの綱の名称を答えよ。
設問(２)　脊椎動物門の中でもっとも原始的な綱の名称と、生物例を１つ答えよ。
設問(３)　設問(１)で答えた６つの綱のうち、羊膜動物と呼ばれるものを選び出せ。

【解答】第２学期　第 93 問－２
問３　多足綱：⑥　　昆虫綱：①　　クモ綱：②③　　甲殻綱：④⑤⑦
問４
設問(１)　無顎綱・魚綱・両生綱・はちゅう綱・鳥綱・哺乳綱
設問(２)　無顎綱：ヤツメウナギ
設問(３)　はちゅう綱・鳥綱・哺乳綱

第 94 問　２学期　菌界

問１　次の生物(１～５)にあてはまるものを、下の①～⑰のうちからそれぞれ選び出せ。
ただし、１～５は①～⑫、４・５は⑬～⑰のうちから選び出すものとする。

１．接合菌類　　２．子のう菌類　　３．担子菌類　　４．地衣類　　５．酵母菌

①　光合成をおこなう。　　②　光合成をおこなわない。
③　細胞壁を持ち、その成分がキチンである。
④　細胞壁を持ち、その成分がセルロースである。
⑤　細胞壁を持たない。　　⑥　体が菌糸からなる。　　⑦　細胞内消化をおこなう。
⑧　体外消化をおこなう。　　⑨　接合胞子を作る。　　⑩　子のう胞子を作る。
⑪　担子胞子を作る。　　⑫　子実体(キノコ)を作る。

⑬　子のう菌類・担子菌類のうち、一生を単細胞で過ごすものの総称。
⑭　子のう菌類・担子菌類のうち、子実体を作らないものの総称。
⑮　緑藻と共生している状態。　　⑯　シアノバクテリアと共生している状態。
⑰　光合成細菌と共生している状態。

問２　次の菌類(１～５)の例を、下の①～⑧のうちからそれぞれ選び出せ。

１．接合菌類　　２．子のう菌類　　３．担子菌類　　４．地衣類

①　アオカビ　　②　アカパンカビ　　③　ウメノキゴケ　　④　クモノスカビ
⑤　ケカビ　　⑥　サルオガセ　　⑦　シイタケ　　⑧　マツタケ

【解答】第２学期　第 94 問

問１
１．接合菌類：②③⑥⑧⑨　　２．子のう菌類：②③⑥⑧⑩　　３．担子菌類：②③⑥⑧⑪⑫
４．地衣類：⑮⑯　　５．酵母菌：⑬

問２
１．接合菌類：④⑤　　２．子のう菌類：①②　　３．担子菌類：⑦⑧　　４．地衣類：③⑥